

## コルガノフード

TRDR - R(RBJ)60(D)

TRDR - RBJ90(D)

## 同時給排型コルガノフード

TRDR - R(RBJ)60K(D)N

TRDR - RBJ90K(D)N

# 取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき  
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、  
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に  
必ず保管し、必要な時にお読みください。

## もくじ

・安全上のご注意	1～2
・各部の名称／ ご使用前の準備	3
・リモコンスイッチの使い方	4
・予備スイッチについて／ リモコンスイッチの電池交換のしかた／ 電球交換のしかた	5
・連動システムについて	6
・ご使用に際して	7
・部品の取り外し方	8
・部品の組立て方	9
・お手入れ方法／仕様	9～10
・修理を依頼される前に／ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて／ アフターサービスについて	11
・長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	12



# 安全上のご注意

必ずお守りください



ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

## 警告

分解・修理・改造は自分でしないでください。



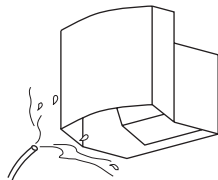
分解・修理・改造禁止

異常動作をして、発火したり、ケガをする恐れがあります。

水に付けたり、水をかけないでください。



水かけ禁止



ショートや感電の恐れがあります。

ガス漏れのと看、スイッチを入／切しないでください。



操作禁止

ガス爆発の原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。



電源プラグを抜く



感電やケガをすることがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。



ほこりをとる



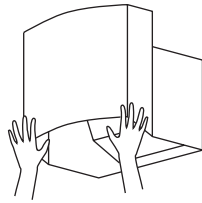
火災の原因になります。

**⚠ 注意**

本体はしっかりと取付いているか、確認してください。



取付注意



落下により、ケガをする恐れがあります。

羽根や部品の取付けは確実に行ってください。



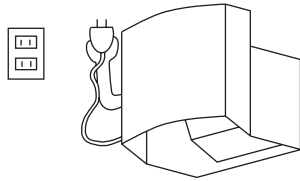
取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く

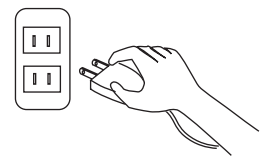


絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。



電源プラグを持って抜く

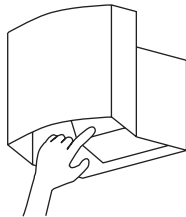


感電やショートして発火することがあります。

運転中は指や物を入れたり、手を触れたりしないでください。



接触禁止

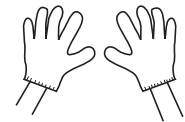


ケガややけどの恐れがあります。

お手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないでください。



接触禁止

フィルターや部品が落下して、ケガややけどをすることがあります。

調理中、油に火がついたときは運転を止めてください。



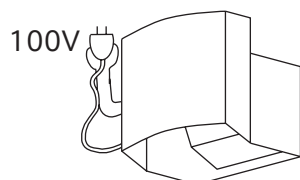
運転停止

運転をしていると、火の勢いがさらに強くなり危険です。

交流100V以外では使用しないでください。



使用禁止



火災の原因になります。

## 各部の名称

### コルガノフード

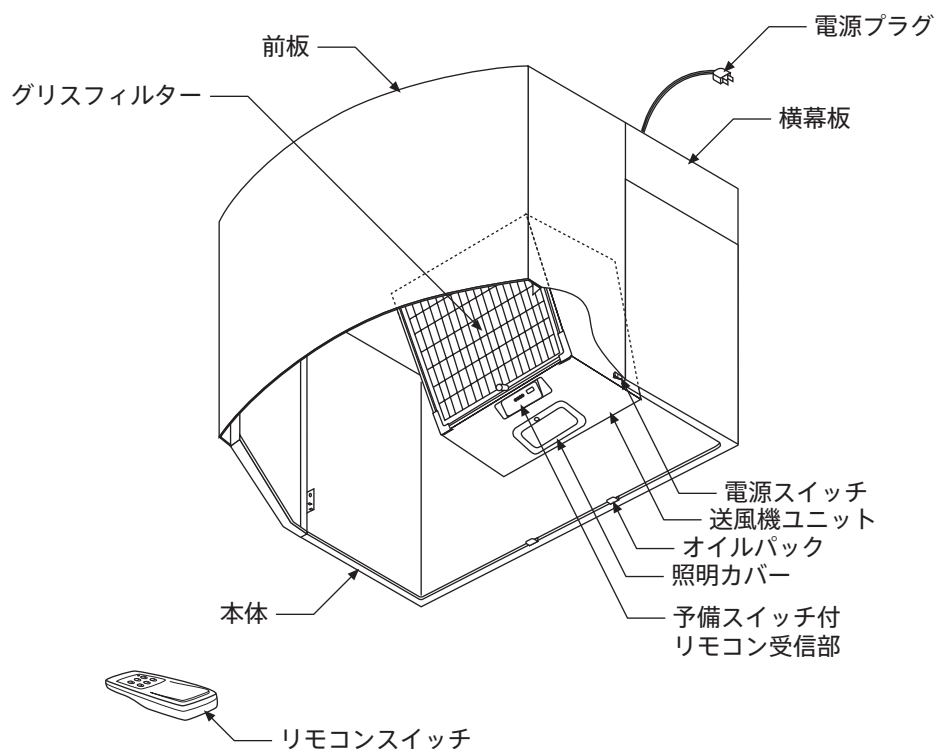
TRDR - R(RBJ)60(D)

TRDR - RBJ90(D)

### 同時給排型コルガノフード

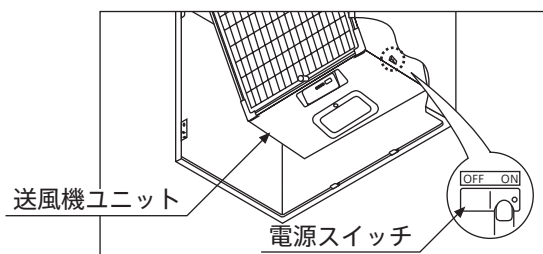
TRDR - R(RBJ)60K(D)N

TRDR - RBJ90K(D)N

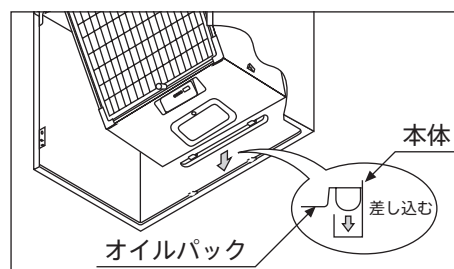


## ご使用前の準備

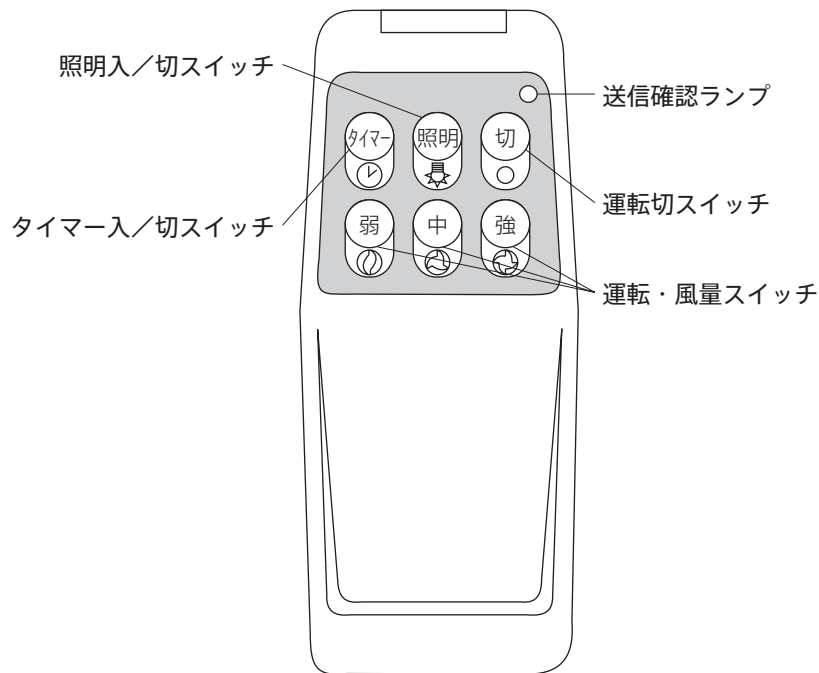
1. 電源プラグをコンセントに差し込み、送風機ユニットの電源スイッチをONにする。



2. オイルパックが、正しくセットされているか確認してください。  
オイルパックが正しくセットされていないと油がコンロ台に流れ落ちます。



## リモコンスイッチの使い方



### 送信確認ランプ

- ・各スイッチを押すごとに、ランプが点灯します。
- ・ランプが点灯しなくなりましたら、新しい乾電池と交換してください。

### タイマー入/切スイッチ

- ・約3分間、残置運転をします。
- ・運転表示部（送風機ユニット）のタイマー表示ランプが点灯します。

注：照明は消えません。

### 照明入/切スイッチ

- ・押すと照明が点灯します。
- ・スイッチを押すごとに入/切を繰り返します。

### 運転切スイッチ

- ・押すと運転が停止します。

注：照明は消えません。

### 運転・風量スイッチ

- 弱 ① …… 煙の少ない時。  
長時間、静かに運転したい時。
- 中 ② …… 煙の少ない時。
- 強 ③ …… 煙の多い時。  
早く換気したい時。
- ・運転表示部（送風機ユニット）の運転表示ランプが点灯します。

### 切り忘れ防止タイマー

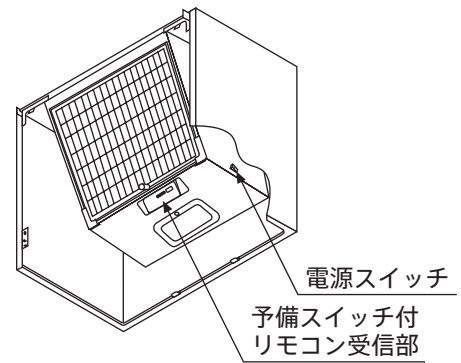
- ・切り忘れ防止のため、タイマー運転をしない時でも、約5時間で自動的に運転および照明を停止します。
- ・再び運転をする時には、運転スイッチを押してください。

## 予備スイッチについて

リモコンスイッチの電池切れや故障等により、一時的に操作が出来ない場合、非常用としてリモコン受信部で強運転のみ操作が可能です。

1. 電源スイッチをONにします。
2. 予備スイッチを押すと強運転します。
3. もう一度押すと停止します。

※予備スイッチはあくまでも応急用ですので、レンジフードの性能を十分に発揮させるために、できるだけ早く電池の交換・スイッチの修理を依頼してください。

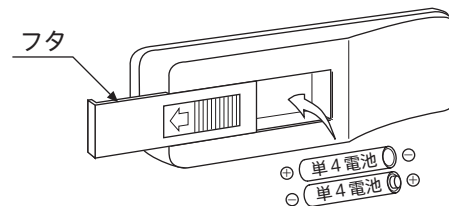


## リモコンスイッチの電池交換のしかた

1. リモコンスイッチの裏面のフタを外して、単4電池（2本）を新品と交換してください。
2. フタをしっかりと取付けてください。

### 《 ご注意 》

- リモコンスイッチに組み込まれている乾電池は、製品出荷時の検査用のもので消耗している場合があります。できるだけ早く新しい乾電池と交換してください。
- リモコンスイッチの送信確認ランプが点灯しなくなったり、信号が届きにくくなったときには、新しい乾電池と交換してください。
- 電池交換は新しい同じ種類のものを、必ず2個同時に交換してください。
- 液漏れによる故障を避けるために、長時間使用しない場合は乾電池を取り出してください。
- 電池交換後、裏面のフタが確実に閉まっているか確認してください。

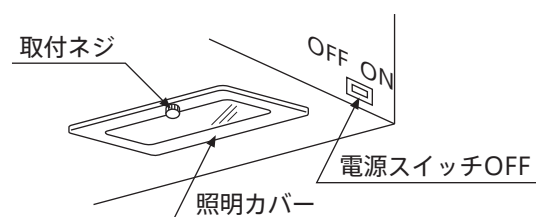


## 電球交換のしかた

1. 照明カバーを手で支え、取付ネジを外して電球を交換してください。
2. 交換用電球は、市販のミニ電球（定格100V・40W・口金径17mm）をご使用ください。

### 《ご注意》

電球交換は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。また濡れた手で電源スイッチを操作しないでください。感電の恐れがあります。



## 連動システムについて（連動システム対応のガスこんろをご使用の場合のみ）

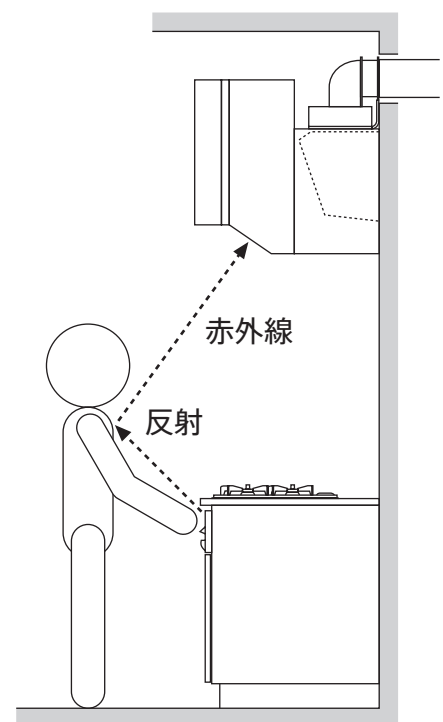
- 連動システムは、当社指定の連動システム対応のガスこんろをご使用いただいた場合のみ対応しています。対応機種は、お買い求めの販売店または、お近くのトーヨーキッチンまでお問い合わせください。
- ガスこんろを点火すると、連動システムによりレンジフードのスイッチの操作を行わなくてもレンジフードの運転を開始します。なお、スイッチの操作で手動でもご使用になれます。
- ※ガスこんろの操作パネルにもレンジフードの操作スイッチがついていますが、操作方法はガスこんろの取扱説明書をご覧ください。

### 〈連動運転〉

- ガスこんろを点火すると、連動してガスこんろの前パネルから赤外線が発信され、人体に反射してレンジフードの赤外線受信部で受信し、レンジフードの運転を開始します。ただし、照明は点灯しません。
- 連動運転は「中」ですが、手動で「強」または「弱」への切り替えもできます。風量を切り替えた場合でも、消火ボタンを押すと連動して運転を停止します。
- 「強」や「弱」で使用中の場合でも、点火ボタンを押すと「中」運転に切り替わります。

### 〈連動停止〉

- ガスこんろを消火すると、連動してガスこんろの前パネルから赤外線が発信され、人体に反射してレンジフードの赤外線受信部で受信し、3分後に自動でレンジフードの運転を停止します。
- 安全装置が作動してガスこんろが自動消火した時、消火ボタンを押すと3分後にレンジフードの運転を停止します。消火ボタンを押さない場合は、5時間後にレンジフードの運転を停止します。



- 次のような場合、レンジフードが動作しないことがあります。故障ではありません。
  - ・ガスこんろの近くに立ち過ぎている。または、離れ過ぎている。  
（ガスこんろから約20～30cmが適当）
  - ・前かがみで操作し、手や頭で信号が遮断されている。

## ご使用に際して

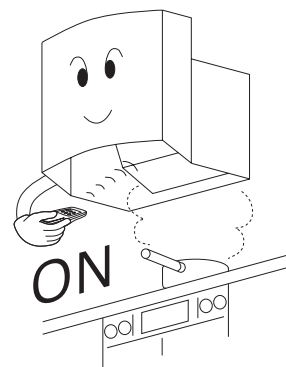
**加熱機器を使用する時には、必ず運転してください。**

異常高温により故障の原因となります。

**効率よく換気するために運転中は十分に給気をしてください。**

コルガノフード取付け側と反対側の壁に、空気の入力口を設けるか、または扉を少し開けてください。

※同時給排型コルガノフードの場合には不要です。



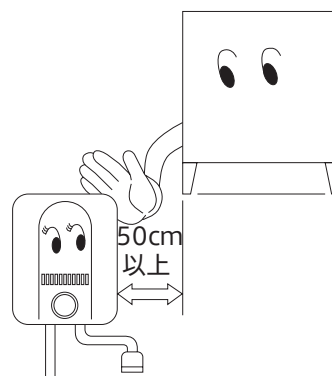
**コルガノフードが高温になる使い方はしないでください。**

故障の原因になったり、モーターの寿命を早めます。

加熱機器等の空焚きは、おやめください。

室温が40℃を越える場所でのご使用はお避けください。

湯沸器は側方へ50cm以上離してください。

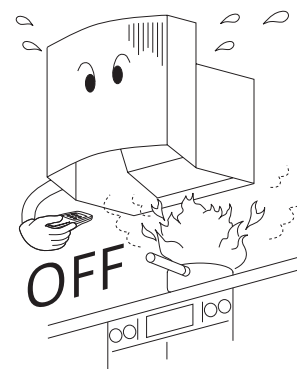


**調理中誤ってフライパン等の油に火がついた時は、ふたをする等して火を消すと同時に、コルガノフードの運転を止めてください。**

ファンが回転していると火の勢いがさらに強くなり危険です。

**シンナー・みがき粉・灯油・アルカリ性洗剤等は、使用しないでください。**

変質・変色の恐れがあります。



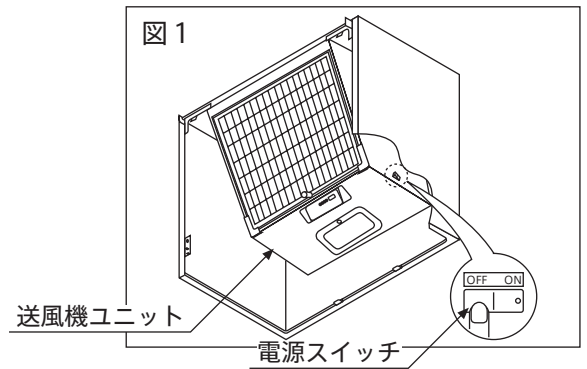


## 部品の取り外し方

[1] 電源スイッチをOFFにします。(図1)

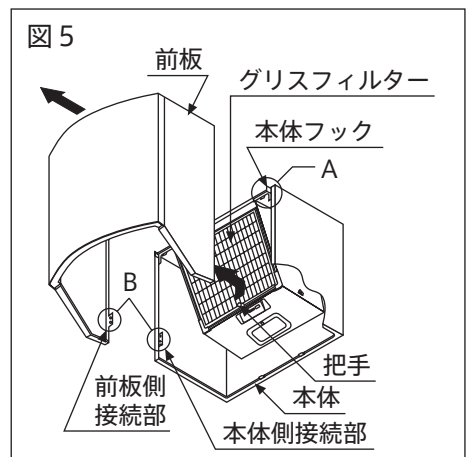
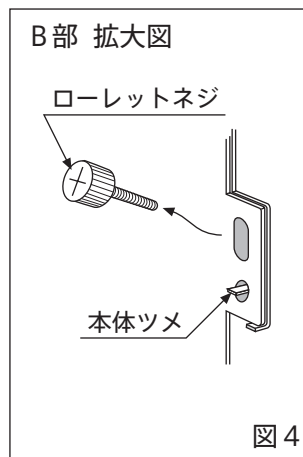
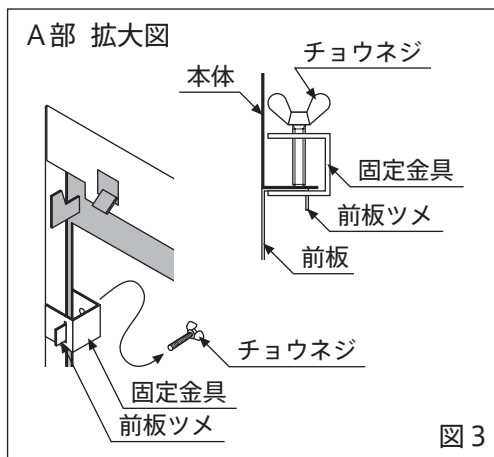
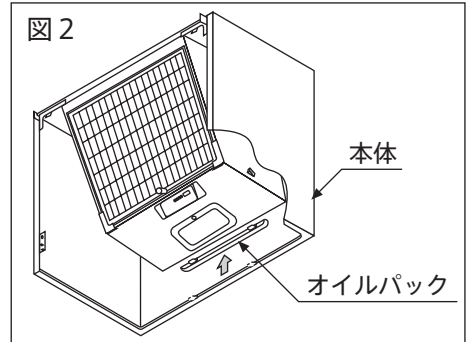
[2] オイルパックを外す。(図2)

オイルパックは上に持ち上げると外れます。



[3] 前板を外す。

- (1) フード内部（上側）に付いている固定金具を取り外してください。(図3)
- (2) 前板と本体を接続しているローレットネジを取り外してください。(図4)
- (3) 前板を手前に引いて、本体から取り外してください。(図5)

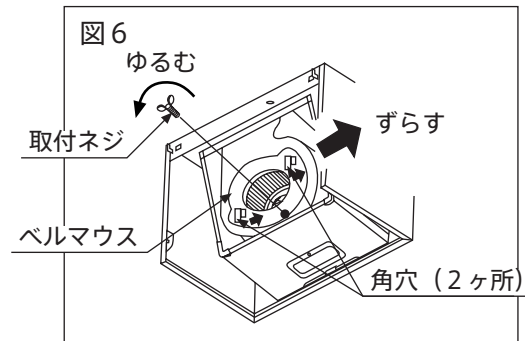


[4] グリスフィルターを外す。(図5)

グリスフィルターの<sup>とって</sup>把手を持って、上に上げると外れます。

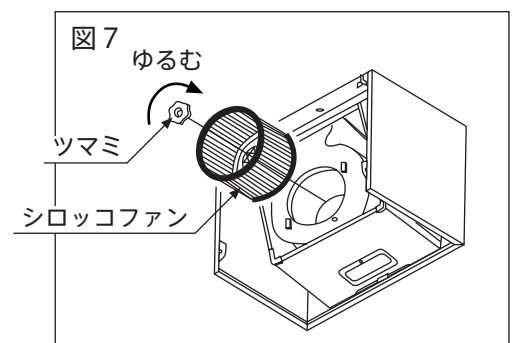
[5] ベルマウスを外す。(図6)

- (1) ベルマウスの取付ネジを手で回して外します。
- (2) ベルマウスを矢印の方向にずらすと、角穴（2ヶ所）が外れて取り外せます。



[6] シロッコファンを外す。(図7)

ツマミを手で回して外し、シロッコファンを引き抜きます。



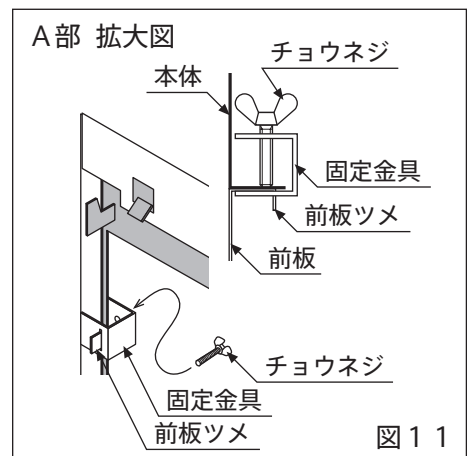
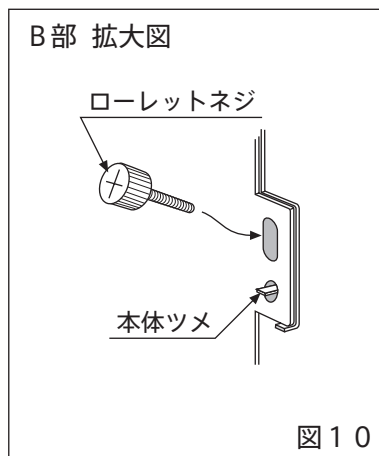
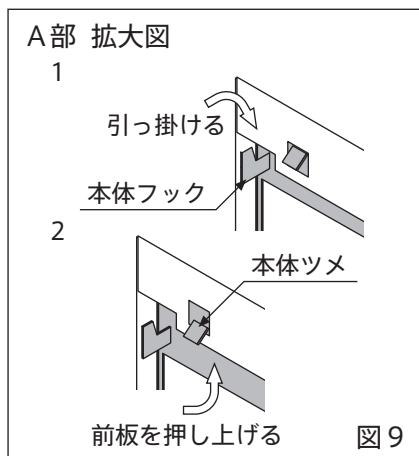
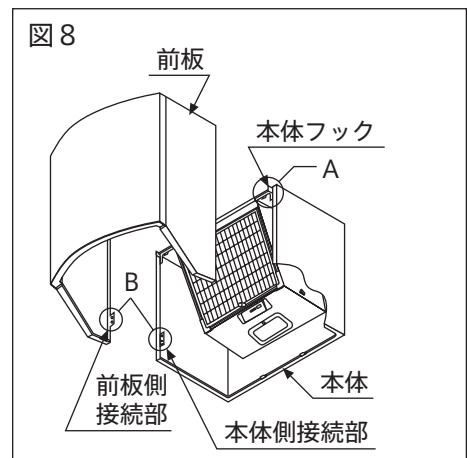
## 部品の組立て方

お手入れの後の組立ては、部品の取り外しと逆の順序で行ってください。

- シロッコファンの取付けは、モーター軸のピンにシロッコファンの切り欠き部を合わせて押し込み、ツマミをしっかりと締め付けてください。
- グリスフィルター・シロッコファン・ベルマウス等の部品は、確実に取付けてください。不完全ですと落下することがあります。
- ベルマウスの取付ネジの締め付けがゆるいと振動等の原因になります。しっかりと締め付けてください。

### 前板の取付け (図8)

- (1) 前板を本体の本体フックに引っ掛けてから、前板を押し上げて、本体ツマミに前板を差し込んでください。(図9)
- (2) 前板側接続部の下側の穴に、本体側接続部の本体ツマミを差し込み、上側の穴より、付属のローレットネジにて固定してください。(図10)
- (3) 付属の固定金具を前板ツマミに掛けて、前板と本体をはさみこみ、チョウネジにてしっかりと固定してください。(図11)



## お手入れ方法

いつまでも美しくご使用していただくために、月に1回程度お掃除をしてください。

※ご使用始めは、製品表面の黒ずみが付くことがありますが、お手入れを繰り返すとなくなります。

### (1) お手入れの時のご注意

- 本体・グリスフィルター・送風機ユニットには、油汚れを落としやすくするために、特殊コーティングを施してありますので、シンナー・ベンジン等の溶剤やアルカリ性洗剤・歯磨き粉・金属製タワシ等は使用しないでください。
- モーターの軸受けはボールベアリングを使用しておりますので、注油の必要はありません。

### (2) お掃除のしかた

- グリスフィルター・ベルマウス・シロッコファンは中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取ってください。  
ひどい汚れの場合、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に、1時間程浸して歯ブラシ等でこすると落ちやすくなります。
- 本体・前板・送風機ユニットは、中性洗剤を浸してよくしぼった布で拭いた後に水拭きをし、最後に乾いた柔らかい布で乾拭きをしてください。

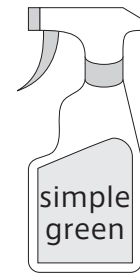
※本体上部・前板裏面上部のお手入れを行う際は、前板を外してください。

- モーター部は乾いた布で、ゴミをきれいに落してください。

## メンテナンス用品 (オプション)

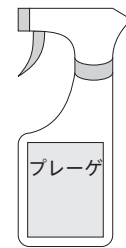
### ○シンプルグリーン (洗剤)

- ・通常のお手入れには30倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。  
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
  - ・油污れがひどい場合は、水で5倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、2～3分待ちます。  
スポンジ等で汚れをこすり落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。  
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ※希釈率が濃すぎると、表面に洗剤成分が残り、白っぽくなることがあります。



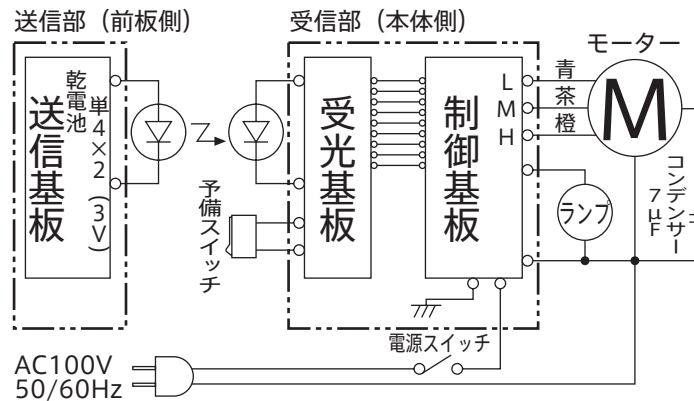
### ○プレーゲ (ステンレスチタン製品用コーティング剤)

1. プレーゲを塗布する前に水や中性洗剤等を使用して、表面に付着している汚れを落とします。
  2. プレーゲを塗布します。  
(スプレー1回 (約1cc) につき1平方メートルを目安)
  3. 乾いた柔らかい布で車のワックスを塗り込むように円を描きながら、プレーゲを十分に塗り込みます。
  4. 再度乾いた柔らかい布で、白いモヤモヤが無くなるまでから拭きします。
- ※ プレーゲを塗布しすぎると、白いモヤモヤが取れにくくなります。  
※ プレーゲを使用する前に「シンプルグリーン」で油污れを落とすと、より一層効果が得られます。



## 仕様

### 結線図



機種名	速度調整	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (0mmAq時) (m <sup>3</sup> /h)	騒音 (dB [A] )	電球 (W)
コルガノフード TRDR - R(RBJ)60(D) TRDR - RBJ90(D)	強	50	101	580	39	40
		60	111	540	37	
同時給排型コルガノフード TRDR - R(RBJ)60K(D)N TRDR - RBJ90K(D)N	中	50	51	330	27	
		60	51	300	26	
	弱	50	30	210	20	
		60	30	200	20	

消費電力、風量、騒音の測定は J I S C 9 6 0 3 による。

## 修理を依頼される前に

●ご使用中に異常が生じた場合、運転を停止して次の点を確認後、電源スイッチを切り、お買い求めの販売店までご相談ください。

1. ブレーカーが切れていませんか。
2. 電源プラグとコンセントの接触は悪くないですか。
3. リモコンスイッチの電池は切れていませんか。また、電池が外れていませんか。
4. 電源スイッチはONになっていますか。

●修理等を依頼される場合、型名（機種名）およびお買い求めの時期を、販売店までお知らせください。

※性能向上のため、予告なしに一部変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。

ご使用の際 このような 症状はあり ませんか？	●スイッチを入れても、動かないときがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他、異常・故障がある。	▶	ご使用中 止 このような症状のときは、 故障や事故防止のため、電 源を切り、必ず販売店に点 検・修理をご相談ください。
----------------------------------	---	---	--

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所等の個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認等に利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。  
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ご氏名 ・ご住所 ・お電話番号 ・お買い上げ日 ・異常の内容 ・品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた下記の内容の表示を本体におこなっています。


(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

	<p>【製造年】 20**年 (本体に西暦4ケタで表示してあります。)</p> <p>【設計上の標準使用期間】 10年</p> <p>設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。</p>
---	---

■標準使用条件

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz及び／又は60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	取付・設置説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間* <sup>a)</sup> 台所 2410時間/年	
<p>注記 表1の温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。</p> <p>*a) 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8760時間/年とする。</p>			

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。  
詳しくは、[store.toyokitchen.co.jp](https://store.toyokitchen.co.jp)をご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>  
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

**お問い合わせ先**

**T E L** 050 - 3852 - 2392 (受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く))

**メール** [tk@toyo1.toyokitchen.co.jp](mailto:tk@toyo1.toyokitchen.co.jp)

**F A X** 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも  
修理/メンテナンスの  
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

